

■報告 第3回協議会の開催延期経過等について

1 当初の予定及び開催延期経緯

(1) 当初の予定

- ・新駅に確保できる附帯施設^{※1}のスペースを確認の上、導入機能の議論を進める。

(2) 開催延期経緯

①第4回インバウンド協議会（H31.2.1開催）

鉄道・運輸機構（以下「機構」）：・新駅高架下には附帯施設のスペース確保は困難。

②第3回新幹線まちづくり協議会開催延期（H31.3.15通知）

- ・附帯施設は合築（前出し）か別棟での整備が必要となる。
- ・庁内及び北海道（駅前広場関係）との協議に時間を要するため3月中の開催を延期。

※1 附帯施設：駅施設^{※2}以外の施設

※2 駅施設：ホームやコンコース内の通路、改札口、エレベータ、待合室、トイレ、駅事務室、みどりの窓口等、新幹線運行に関わる施設

2 これまでの経緯（開催延期（H31.3.15）以降）

(1) 機構との協議

①H31.3.26

機構：・高架下スペースが確保できないと決まったわけではない。

- ・4月早々に機構内で検討を進める。

⇒小樽市の考え

- ・高架下にスペースが確保されることは、費用負担や附帯施設の効果的利用の観点で市に有利なことから、機構の検討結果を待つ。
- ・合築と別棟に関する調査検討の作業も一旦休止する。

②R1.5.23

機構：・駅舎の設計を二段階に分けて進めることが可能となった。

- ・H31年度の設計は、附帯施設のスペース確保の問題を切り離して進める。
- ・高架下に附帯施設スペースが確保できるか検討する。

③R1.5.30

小樽市：・附帯施設スペースについて、結論を早急に決めてほしい。

- ・現状では、まちづくり協議会が開催できず、駅前広場の協議も進まない。
- ・高架下に附帯施設スペースを確保してほしい。

④R1.7.24

機構：・JRとも協議し、保守基地高架下も駅舎として活用する方向となった。

- ・高架下への附帯施設の配置が可能となりそうだ。
- ・ただし、スペース(面積)の提示には時間を要す。

(2) 第5回インバウンド協議会（R1.8.9開催）

- ・保守基地高架下も駅舎として活用する方向である旨、機構から説明があった。

3 今後の進め方

本日の議題にて別途説明（資料2）。